

Cell Viability and Cytotoxicity Assay

キーワード 1)細胞生存率 2)細胞毒性 3)抗がん剤 4)ラベルフリーアッセイ

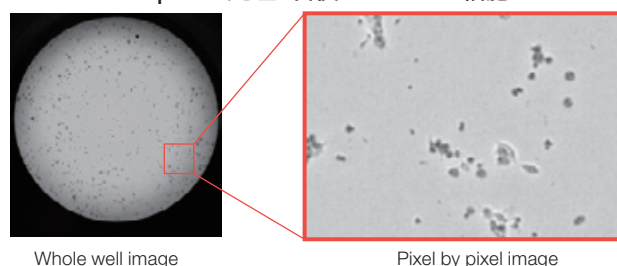
概要

抗がん剤(Cisplatin)処理したがん細胞の生存率をCell³iMager duosを用いてラベルフリーで定量した。

実験方法

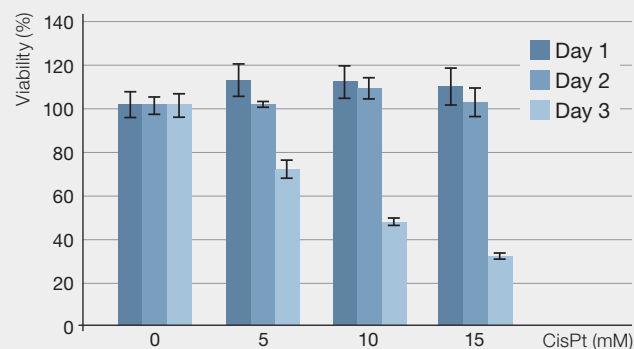
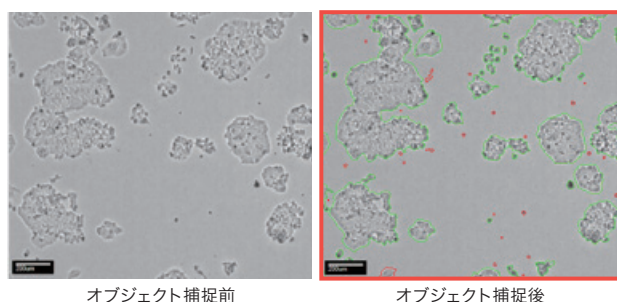
細胞株:HCT116細胞(RIKEN BRC)
 培地:DMEM(Nacalai tesque)
 試薬:Cisplatin(Wako Pure Chemical Industries)
 プレート:96ウェルプレート平底(Sumitomo Bakelite)
 播種密度:1000細胞/ウェル
 培養日数:1~3日間
 撮像方法:明視野撮像、低倍レンズ使用

Cisplatin処理3日後のHCT116細胞

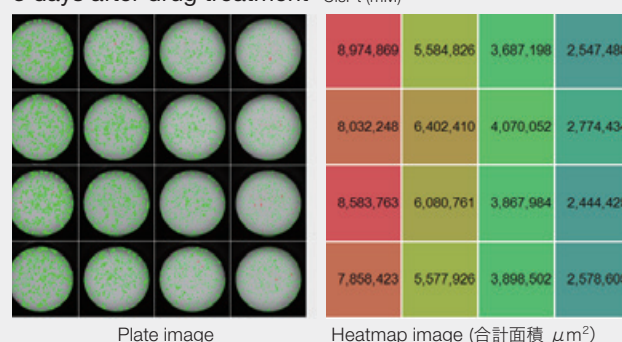


結果・考察

- Cisplatin濃度依存的に、細胞生存率が減少していることが分かりました(細胞生存率は面積値から算出)。
- Viability assayやCytotoxicity assayをラベルフリーで代替可能です(ATPアッセイとの相関は確認済み)。
- Calcein-AMやPIを用いた蛍光染色にも対応しています。



3 days after drug treatment



株式会社 SCREENホールディングス

京都(本社) / 〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上四丁目天神北町1番地の1

ライフサイエンス事業室

京都(洛西) / 〒612-8486 京都市伏見区羽東師古川町322
 Tel:075-931-7824 Fax:075-931-7826

東京 / 〒135-0044 東京都江東区越中島一丁目2-21 ヤマタネビル7階
 Tel:03-4334-7977 Fax:03-4334-7978

お問い合わせ先 screen_lifescience@emis.screen.co.jp

www.screen.co.jp